実践例　整理整頓された準備で落ち着いた教室環境に

【　授業ＵＤ化　・（教室環境ＵＤ化）・　人的環境ＵＤ化　】　　【（小学校）・中学校　】

教室後ろ



【目的】

授業の前や授業中の教科書やノートを写真で掲示し，整理整頓された環境で取り組めるようにするため。

【説明】

授業前の準備物の置き方，授業中の机上について掲示し，児童が見て確認しながら，机上の整理整頓を意識させるようにした。

【よかったこと】

５分休憩の間に次の授業を確認して準備をするようになった。授業中も，すっきりとした机でノートを書く姿が見られた。

実践例　「おおきくなあれ　わたしのあさがお」視覚的支援

【（授業ＵＤ化）　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【（小学校・中学校）　】





【目的】

現在の状態のあさがおのイラストを掲示することで、ふたばとほんばのどちらについてのことかが分かりやすくするため。目の前にあるあさがおをじっくり見ながら観察できるようにするため。

【説明】

あさがおのイラストと「発見の技」を黒板に掲示するとともに，児童が気付きやすくするため，あさがおの鉢を教室内に持ち込んで授業を行った。

【よかったこと】

発表の際にも，児童が自分のあさがおの状態を目で確認しながら発言することができた。普段は発言が難しい児童も視覚的な支援があることで自信をもって発言することができた。授業の振り返りの際には，その児童が「3回も発表できた！」と嬉しそうに話している姿が見られた。

実践例　朝の支度を自分たちでスムーズに

【　授業ＵＤ化　・(教室環境ＵＤ化)・　人的環境ＵＤ化　】　　【(小学校・中学校)　】



【目的】

毎朝の活動の手順や取組を分かりやすく示し，見通しをもって行動できるようにする。

【説明】

黒板に朝の活動内容や手順を掲示し，児童が見て確認しながら，自分で次の行動を判断して動けるようにした。

【よかったこと】

自分で黒板を見て確認し，スムーズに朝の支度ができるようになった。時計と組み合わせることで時間を意識して行動する姿も見られた。学年全体で取り組んでいるため，学年の動きもスムーズになっている。

実践例　当番，係活動で学級生活を円滑に！楽しく豊かに！

【　授業ＵＤ化　・(教室環境ＵＤ化)・　人的環境ＵＤ化　】　　【(小学校)・中学校　】



【目的】

当番活動は，学級の生活を円滑に運営していくため。係活動は，学級の生活を楽しく豊かにするため。

【説明】

当番活動は一人一役，学級で必要な仕事を分担し，係活動は，子供たちが自発的に行っている。

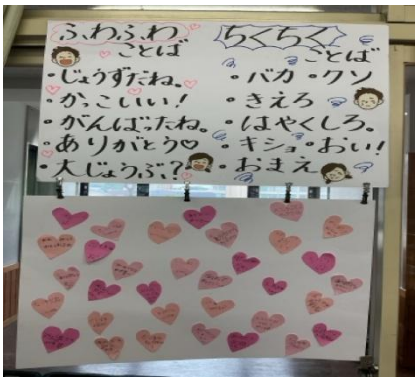
【よかったこと】

当番活動は，一人一役決めたものを教室に掲示して見える化することで，自分の担当だけでなくみんなの担当を確認して，忘れていたら声を掛け合うことができた。

係活動は，活動した日にシールをはって「見える化」することで，次も頑張ろうという子供たちのやる気につなげられた。

実践例　ふわふわ言葉とちくちく言葉

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】
　言葉のもつ影響力（人を傷つける,温かくする）に気付かせ,自分自身の言葉遣いを振り返りながら,主体的に「ふわふわ言葉」を使おうとする態度を育てる。

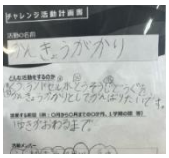
【説明】
　日常の具体的な場面を提示し，「こんな時のちくちく言葉・ふわふわ言葉」について考えさせた。
　最後に自分がこれから多く使いたいふわふわ言葉を一つ決め，その下に名前を書く「宣言カード」を作成させた。

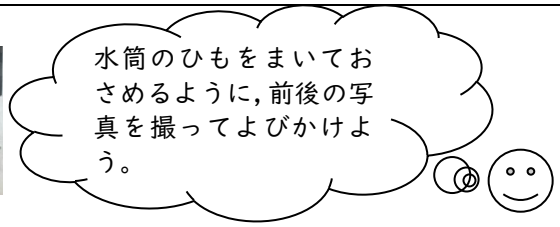
【よかったこと】
　絵本を通して，「ふわふわ言葉」の心地よさが視覚・聴覚から直感的に伝わり，子供たちの「使いたい！」という意欲を自然に高めることができた。導入で，日常の具体例を示したことで，自分事としてちくちく言葉のチクッとする痛みに気付き，相手の気持ちを想像して言葉を選ぶ意識が育った。最後に「ふわふわ宣言カード」を作成することで，言葉遣いへの責任感と「これから実行しよう」という当事者意識をもたせることができた。

実践例　児童の主体的な係活動の推進

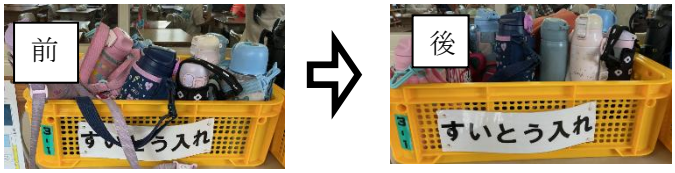
【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】

計画書





右の写真のように水筒を入れるようにしましょう！



【目的】
　児童が話し合って考える中で，お互いの意見を尊重し，自治的に活動できる集団づくりを目指す。

【説明】
　学級にとって「あればよりよい活動」を考えようと呼びかけ，計画書を作り，取り組ませる。学活の時間，帰りの時間を使って，呼びかけをしたり，発表をしたりする。

【よかったこと】
　当番活動とは違い，児童が自分で考えて活動することで，日常の場面でも主体的に考え，取り組もうとする児童が増えた。

実践例　掃除用具の準備をしやすい環境づくり

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

自分がどの掃除用具を使うのかを理解し，掃除の準備をしやすくする。

【説明】

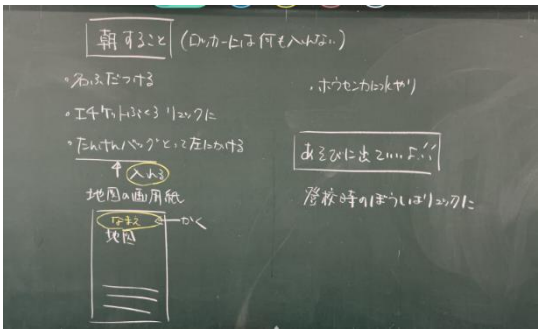
児童が担当する掃除場所に何を置くのか，どの用具を使うのかを写真で示した。

【よかったこと】

掃除の準備がスムーズになり，掃除の当番が変わっても，自分で用具を取り準備することができるようになった。

実践例　朝やっておくべきことに取り組みやすい環境づくり

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

朝のスタートがスムーズに切れるようにすることを目指す。

【説明】

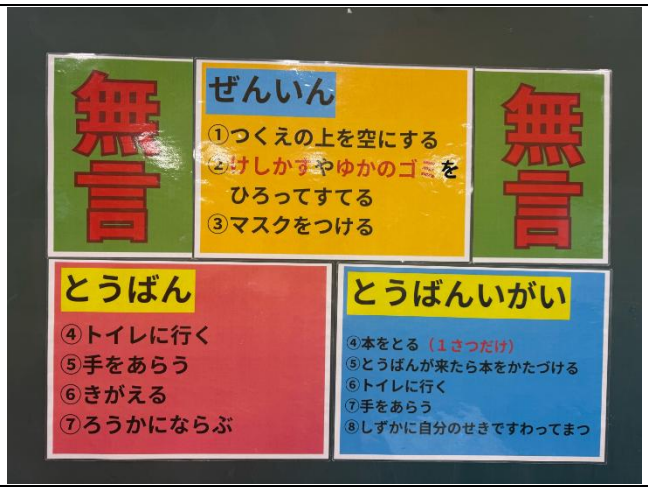
朝，連絡帳を書いた後，朝の時間内で取り組んでほしいことを板書で指示している。この日は社会見学だったので，行く前の準備を示した。

【よかったこと】

朝来たら，「黒板を見る」ことを徹底することで，今何ができていないか，今すべきことは何かを，児童自身が把握しやすくなり，個人が責任をもって行動できるようになった。

実践例　給食配膳時の動きを掲示

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

全児童で共通認識を持ち，安心・安全な学校給食を行うため。

【説明】

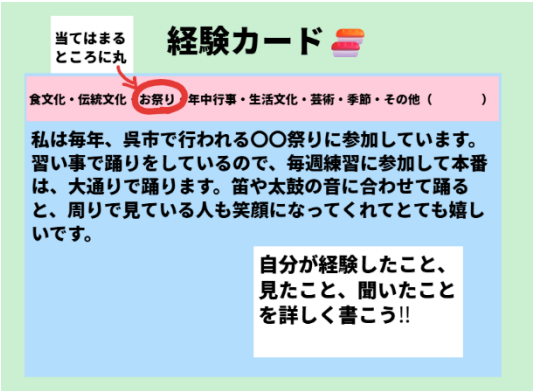
給食配膳の時の動きを黒板に掲示し，各児童が何をすればよいのかを視覚化することで，給食配膳をスムーズかつ安全に行えるようにした。

【よかったこと】

安心・安全かつ，スピーディーに給食配膳を進めることができた。

実践例　説明文を読んで自分の経験を想起し，文章にまとめるワークシート上の工夫

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

既有の知識や経験が乏しく想起することが難しい児童のために「経験カード」を共有して想起しやすくする。

【説明】

国語科の学習において，文章を読んで理解したことに基づいて，既有の知識や経験と結び付けて文章を書くために，経験したことがある文化の内容について想起しながら経験カードを書き学級全体で共有した。

【よかったこと】

他の児童が書いた内容を参考に自分の考えをまとめる児童の姿が見られた。

実践例　日直の仕事を掲示

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】





【目的】
日直の仕事を見える化することで、児童が見通しをもち、達成感を味わいながら、段階的に取り組むことができるようにする。

【説明】
仕事の内容を書いた札を終わったものから裏返していき、全て裏返すとつながる絵と「ありがとう」の文字が出てくるようになっている。

【よかったこと】
進捗状況が可視化されていることで, 日直の児童に仕事を促す声かけをしている児童が見られた。

実践例　指示を少なくする環境づくり

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】
給食室へ給食準備で行った際，給食員さんからスムーズに食器等を渡していただけるようにする。

【説明】
児童が一目で並び方が分かるように，廊下側の窓に並び順を書いた紙をラミネートして掲示し，給食員さんが手渡す順に並ぶようにしている。

【よかったこと】
教師が声を出して確認しなくても，児童は掲示された並び順を見て廊下に並ぶことができた。それによって，給食室で，給食員さんからスムーズに食器等を受け取ることができた。

実践例　動作化で自分事として考える

【（授業ＵＤ化）・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【（小学校・中学校）　】





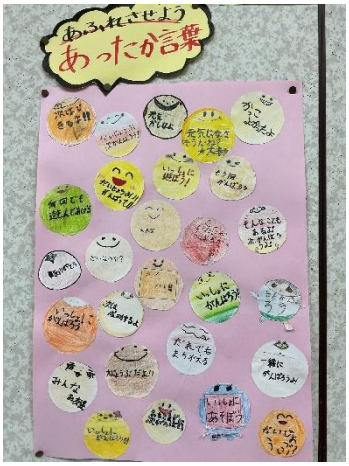
【目的】
　役割演技をすることで，登場人物の心情や行動について，自分事として考えることができるようにする。

【説明】
　「どうすればいいんだ」という物語の最後で，自分がシンイチならヨースケに対してどんな声をかけるかを考え，実演する活動を取り入れた。

【よかったこと】
　役割演技をすることで，シンイチがヨースケにかける言葉の中身だけでなく，口調や動作（顔を覗いたり肩をたたいたりするなど）について工夫する姿が見られた。またヨースケの立場からも行うことで，友達の言葉を聞いてどう感じるか，自分がヨースケだったらどう反応するか，許せるかについても考えていた。ワークシートに書くだけよりも，より具体的に場面を想像し，自分と登場人物を重ねて考えることができた。

実践例　心が温まるあったか言葉

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　（人的環境ＵＤ化　）】　　【（小学校・中学校）　】



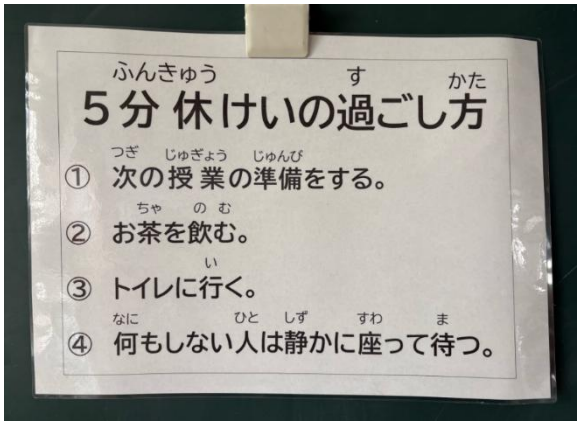
【目的】
　いじめへとつながるようなきつい言葉や人を傷つける言葉をなくし，あったか言葉があふれる学級にするため。

【説明】
　どんな時にどんな言葉をかけられて嬉しかったか，またどんな言葉を友達にかけたいかをみんなで考え掲示した。

【よかったこと】
　掲示した言葉を見ながら，相手の気持ちを考えた言葉を使うよう意識するようになった。

実践例　５分休憩の過ごし方（全校で統一するために）

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



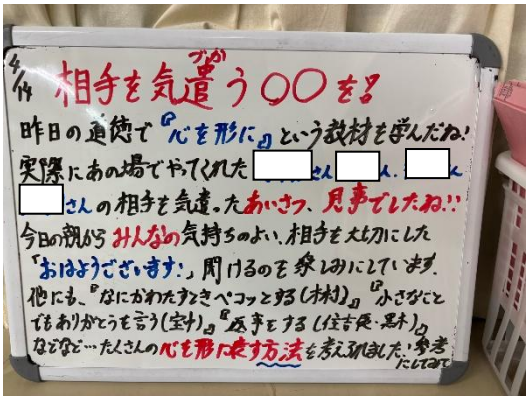
【目的】
５分休憩の過ごし方を全校で統一し，活動の切り替えと集中力の向上を図る。

【説明】
５分休憩の過ごし方を全校で統一することで，児童が何をすればよいかを理解し，休憩時間を有効に活用できるようになる。また，休憩から学習や活動への切り替えがスムーズになり，落ち着いた学校生活や学習環境づくりにつながる。児童による過ごし方のばらつきを減らし，全校で共通した生活習慣を身に付けることも期待できる。

【よかったこと】
５分休憩の過ごし方が明確になり，児童が見通しをもって行動することができるようになった。休憩後の活動への切り替えがスムーズになり落ち着いて学習に取り組む姿が見られた。全校の共通理解を図ることで，学級間のばらつきが少なくなった。

実践例　毎朝のホワイトボードメッセージ

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



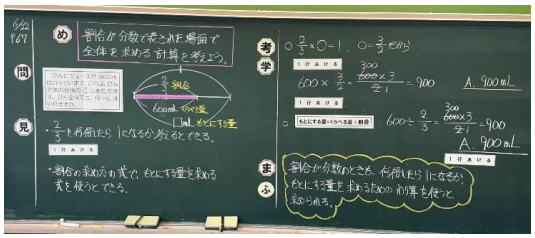
【目的】
毎朝のホワイトボードメッセージを通して，児童のよかった行動を肯定的に評価する。

【説明】
毎朝その日の出来事をホワイトボードメッセージに書く。内容は昨日の様子でよかったことや最近の様子で課題だと感じられることなどで，それらを全体に周知している。
クラスのために自主的に行動した子を見逃さず全体周知をすることで,行動意欲も高めたり，児童の小さな変化を早期に学級全体で「見える化」し,大きな事案に発展することを未然に防止したりできると考えている。

【よかったこと】
ホワイトボードメッセージ自体が，児童にとってクラスのために行動する一つのモチベーションやクラスの目指すところのベクトルになっていると考える。

実践例　授業の流れと板書支援の短冊

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】





【目的】
学習のめあての確認，今何の学習をしているのかが分かるように，短冊を掲示して児童に学習の見通しをもたせるようにする。板書を写すときに，行間を空ける短冊を掲示して，分かりやすいノートにする。

【説明】
黒板に「めあて」めを掲示したり，課題解決の流れを示す見考学まふ等の短冊を提示したりして，学習の流れを身に付けさせる。
行間を空ける短冊を掲示して，ノートを分かりやすく書かせる。

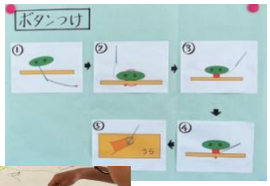
【よかったこと】
学習場面が分かりやすくなるだけでなく，課題解決の仕方を理解して授業に臨む児童が増えた。
行間を空けることで，児童はノートに書きやすくなった。また，板書を移した後に自分のノートを見たときにも見やすく分かりやすくなり，ノートの書き方を工夫する児童が増えた。

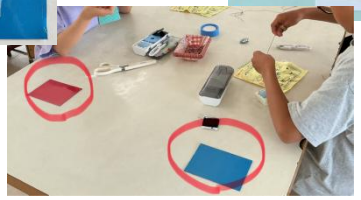
実践例　見通しと支援の工夫で安心して学べる裁縫実習

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】

【よかったこと】







【目的】
児童の自立的な学びを促すとともに，誰もが必要な支援を受けられる学習環境をつくる。

【説明】
教師の手元をモニターで拡大提示し，手順をイラストと短い言葉で示した。また，裁縫の時間はいつも赤青カードで困り感を表現できるようにし，支援を求めやすい環境を整えた。

【よかったこと】
手順や見本を視覚的に示したことで，児童が見通しをもって主体的に活動し，自分で確認したり友達と教え合ったりしながら学習を進めることができた。
困り感をカードで可視化したことで，自分から教師に支援を求めにくい児童も支援を求めやすくなり，一人一人の状況に応じた支援が可能となって，安心して学べる環境づくりにつながった。

実践例　お手本を示して正しい行動を【シューズそろえ】

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】
　落ち着いた気持ちで授業に取り組むことができるようにする。

【説明】
　環境を整えることで，落ち着いた学校生活につなげたり，「当たり前のことを当たり前にする」態度を育てたりして規範意識や基本的生活習慣を身に付けさせる。

【よかったこと】
　シューズをそろえることが，当たり前になり，児童自身が進んでそろえたり，そろってない友達には声をかけたりする様子も見られるようになった。

実践例　健康診断をスムーズに受診するための環境づくり

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校　中学校　】







【目的】
　教師の指示がなくても，児童が自ら動き，健康診断をスムーズに受けられるようにする。

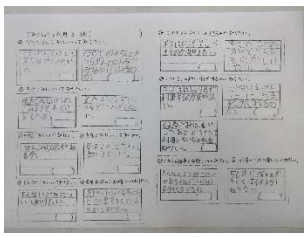
【説明】
　保健室の中に児童の動線を矢印で示したり，診てもらう位置に足形を，待つ位置にテープを貼り目印を付けたりした。また，順番を待っている間に検診の流れを確認できるようにイラストや写真を用いて掲示した。

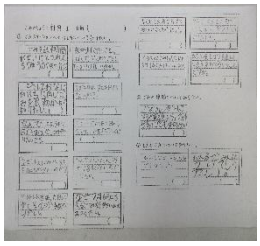
【よかったこと】
　検診時の児童の動線や受け方を保健室内に掲示しておくことで，待機位置や診てもらう位置を児童自身が理解し並んで待つことができ，また検診を待っている間に，検診の流れを確認し，安心して検診に臨むことができた。教師が児童に指示する際は掲示物を指し示し，静かな環境で検診を行うことができた。

実践例　授業構成の工夫

【 授業ＵＤ化 ・ 教室環境ＵＤ化 ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 小学校・中学校 】







【目的】

社会科の学習において，写真やイメージマップ，呉市のごみカレンダーから，本単元の問いをもたせる。

【説明】

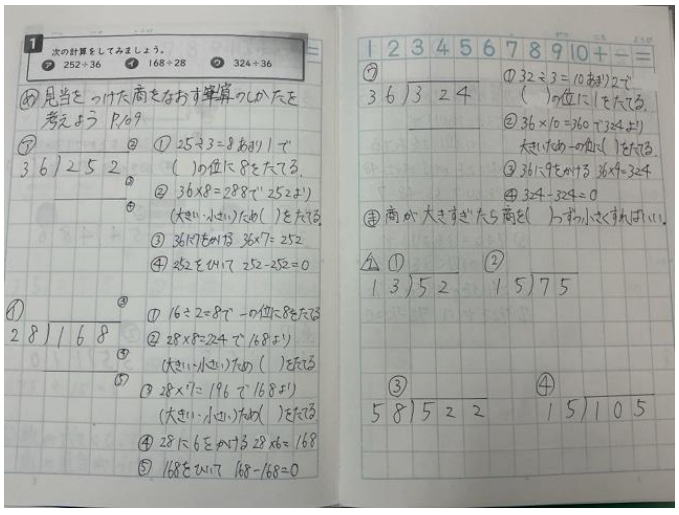
本時の学習をして，気になったことや知りたいことを書かせたカードをもとにして，単元計画を立てる。児童の思いを大切にすることで，主体的な学びに繋げる。

【よかったこと】

「ごみのしょりと利用」で，どのようなことを学習したいのか，児童の思いを大切にして単元構成をすることができた。

実践例　授業ノートを活用しよう

【 授業ＵＤ化 ・ 教室環境ＵＤ化 ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 小学校・中学校 】



【目的】

学習がより分かりやすく，自ら進められるようにする。

【説明】

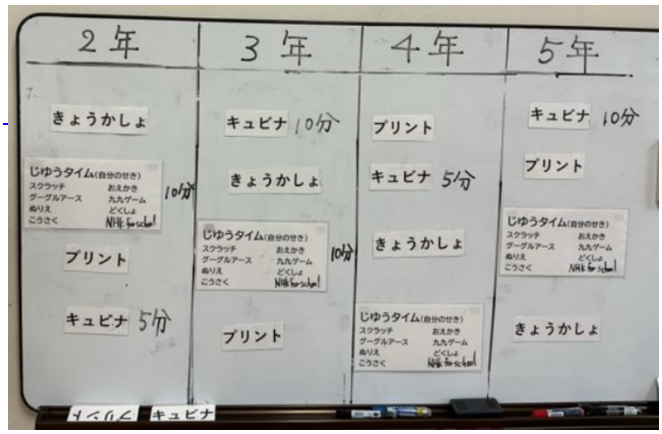
児童ごとにノートを作成する。児童の実態に合わせて，ノートの空欄や問題数を増やしたり，文字をなぞれるようにしたりする。

【よかったこと】

教師としか学習が進められない時間が多かったが，児童自ら学習を進められる時間が増えた。

実践例　学習の流れボードの掲示

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

それぞれの学年が見通しをもって，落ち着いて学習するため。

【説明】

横軸を学年，縦軸を時間軸として，学習の内容を示している。教科書のところは，担任がついて授業を行い，キュビナやプリントのところは，自習を行うようにしている。また，４５分間学習を続けることが難しい児童の実態を鑑み，自由タイムを設けている。

【よかったこと】

児童が「次何をすればよいか。」の質問をすることが減り，その分，教師の学習指導ができてよかった。毎日行えば，複数学年にまたがる学習の流れが児童も教師も共有でき，スムーズに学習に向かう環境ができた。

実践例　準備しやすい環境づくり

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

事前に準備をしやすく，余裕をもって学習活動をすることができる。

【説明】

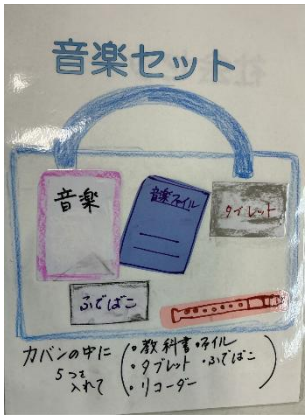
習字道具のレイアウトを視覚的に表示することで，事前に授業の準備ができ，書いたり片付けたりする時間の確保ができる。

【よかったこと】

手伝わなくても，自分で準備ができるようになった。

実践例　準備を確実にして専科の授業に行こう

【（授業ＵＤ化）・教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【（小学校）・中学校　】



【目的】

専科の授業に行くときの準備を自分で確実に行う。

【説明】

教室移動に使うカバンの中に，必要な準備物を確実に自分で用意する。

【よかったこと】

教師に確かめてもらおうとすることが多かったが，自分で準備を行うようになった。

実践例　安心して学習活動できるように

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・（人的環境ＵＤ化　）】　　【（小学校）・中学校　】





【目的】

学習活動の形態を視覚的に示すことで，安心して学習できる環境をつくる。

【説明】

児童が安心して授業に臨めるようにするために，「直接指導（先生と）」「間接指導（一人で）」「同時間接指導（みんなで）」のイラストを，学習に流れとともに視覚的に提示する。

【よかったこと】

児童と学習形態を共有することで，教師のわたりがスムーズになった。また，「同時間接指導（みんなで）」のカードが出ている時は私語をせず教師の話を聞くことや，「間接指導（一人で）」のカードが出ている時は，一人で課題に取り組むなど，学習のルールを確認して守ることにも役立っている。複数指導の特別支援学級において，授業中の教師との関わりを視覚的に確認でき，教師も児童も安心して学習活動に取り組める。

実践例　図書室の本を探しやすく，戻しやすく

【 (授業ＵＤ化) ・ 教室環境ＵＤ化 ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 (小学校)・中学校 】



【目的】
配置図を見て，図書室の本を探す。借りた本を正しく本棚に戻す。

【説明】
図書室の本の配置図のコピーを使い，自分が借りた本の本棚の場所に印を付ける。本を借りる際には，配置図を見て探すことができる。本を返却する際には，印を見て本棚に返す。

【よかったこと】
図書室のどこにどんな本があるのかを知るきっかけになった。また，自分で本を元の場所に戻すことができるようになった。

実践例　準備しやすい環境づくり

【 授業ＵＤ化 ・ (教室環境ＵＤ化) ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 (小学校・中学校) 】



【目的】
ロッカーのどこに何を置くか分かるようにする。

【説明】
ロッカーに視覚的に掲示することで，いつも同じ場所に荷物を置くことができる。

【よかったこと】
手伝わなくても，自分で荷物を置いたり取ったりすることができた。

実践例　意思表示＆プチリフレッシュ！

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】




活動と場所が一致するように，机にプレートを置いて，「どの場所で何をするのか」が分かるようにしている。



【目的】

目的別に学習するスペースを整え，自分の意志で学習する場所を選択できるようにする。

【説明】

調べ学習をしたい時や先生に教えてもらいたい時にその場所に移動することで，意思表示をすることができる。また，答え合わせコーナーや動画コーナーを活用する等，自律的な学びを促進させる。

【よかったこと】

複数学年が在籍する学級において，目的別に学習するスペースを整えることで，指導者は，直接指導や間接指導をしながら，個々の学ぶ様子を気に留めることができる。学習者は，移動することでリフレッシュになったり，異年齢のつながりを感じたりしながら，学習を進めることができた。

実践例　曜日と日付の言い方を覚えるエ夫

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

曜日や日付など，毎日の生活の中で使う必要な内容を定着させる。

【説明】

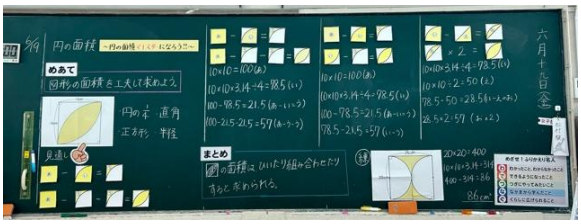
言い方を掲示し，毎日の朝の会を使って復唱することで定着を図る。

【よかったこと】

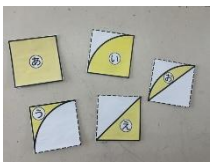
日付の特別な言い方が自然に口に出るようになってきた。さらに，曜日を覚えることで一週間という時間の流れもつかめるようになってきた。また，英語での曜日の言い方を取り入れることで，外国語への興味も出てきた。

実践例　具体物を用いた授業の工夫【算数】

【 授業ＵＤ化 ・ 教室環境ＵＤ化 ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 小学校・中学校 】







【目的】
　具体物を操作する活動を取り入れ，円の面積の求め方を感覚的・体感的に捉えられるようにする。

【説明】
　複合図形において，円の見えない部分を想像することができるように具体物を操作させた。また，考えを交流しやすいように各班に拡大した図形を用意した。

【よかったこと】
　具体物を用意することで，円の面積の見えていなかった部分を想像し，公式を用いて複合図形の面積を求めることができた。式の意味を考えながら面積を求めたり説明したりしている児童が増えた。

実践例　具体的な評価例を示す

【 授業ＵＤ化 ・ 教室環境ＵＤ化 ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 小学校・中学校 】

具体的な完成物

わたしは、新聞を選びます。S スペシャル
なぜなら、新聞は、あらゆる分野の情報を一度に手に入れることができるからです。また、新聞を作る人が言われていたように、多くの人がチェックをしているから、正しい情報を手に入れられるところも長所だと思います。
テレビやインターネットとは違い、音声がなく、電波も必要ないので、電車やバスの中など大勢の人がいるところでも、遠慮なく見ることができます。 とべる

わたしは、新聞を選びます。◎ A
なぜなら、新聞は、あらゆる分野の情報を一度に手に入れることができるからです。また、新聞を作る人が言われていたように、多くの人がチェックをしているから、正しい情報を手に入れられるところも長所だと思います。

○ B
わたしは、新聞を選びます。
なぜなら、新聞は、あらゆる分野の情報を一度に手に入れることができるからです。

【目的】
　児童が具体的なゴールイメージをもって学習に参加できるようにする。

【説明】
　単元のゴールに書く活動をする際，具体的な完成物を示す。全員が達成したいレベルをB評価とし，文章の完成度が高いレベルをA評価，S評価で示す。書く活動を行う前に各段階の完成例を比べて，どのような工夫を加えるとより分かりやすい文章になるのかを全員で共有する。

【よかったこと】
　評価別の具体例の提示があることで，書く活動に取り組む際に「もっといい文章を書いてみたい」「S評価の分かりやすい文章が自分にも書けそう」と意欲的に行う児童が増えた。書くと聞いて抵抗感を感じる児童が多くいたが，具体例があることで取り掛かりにつまずく児童が減った。

実践例　参加意欲を高める工夫

【 授業ＵＤ化 ・ 教室環境ＵＤ化 ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 小学校・中学校 】

実験の役割分担
- 一つつなぎ
- 直列つなぎ
- 並列つなぎ
- 検流計つなぐ
- 検流計読み取る
- スイッチオン・オフ
- 記録



【目的】
理科の実験をする際，役割分担を決める。また，回路のつなぎ方を写真で掲示し，どの役割でもできるようにする。

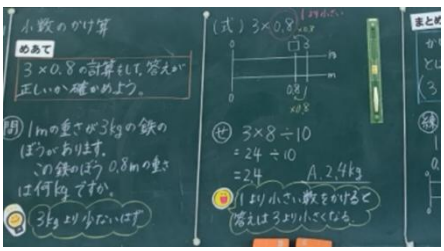
【説明】
どのような役割があるのか，テレビに映しながら説明する。実験キットの中でどの部品をどのようにつなぐとよいか一目で分かるように写真を全員に送り，必要に応じて見られるようにする。

【よかったこと】
これまで班での実験は見ているだけの児童がいたが，役割を事前に決めておくと，全員が実験に参加できた。また，音声だけの説明ではどの部品を指すのかわからなかったり，電気回路を組み立てたりすることに自信がなかったりした児童も，画像を確認しながら回路を組み立てることができた。

実践例　カードを使った板書の工夫

【 授業ＵＤ化 ・ 教室環境ＵＤ化 ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 小学校・中学校 】





【目的】
児童が見通しをもちながら進んで学習に参加できるようにするとともに，大事なポイントやキーワードが明確に分かるようにする。

【説明】
①見通し②ポイント③ナイスな考え④分からないことの４種類のカードを使い分けて提示することで，何について考えるのかを焦点化し，大事なポイントやキーワードが共有できるようにする。

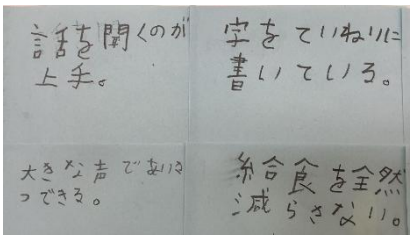
【よかったこと】
カードの提示によって大事なところを確認する目印になり，まとめや振り返りを意欲的に行う児童が増えた。また,児童自身が「ここがポイントかも！」と見通しをもって学習する姿が見られた。

実践例　わたしのすてき発見タイム！

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】







【目的】

児童同士でよかった点を認め合う場を設定し，褒められる経験を積み重ねることで自己肯定感を高める。

【説明】

ほめほめ会社として児童が主体的に取り組める学級活動を取り入れた。会社の社長が朝の会の「ほめほめタイム」を進行し，くじで当たった児童は学級の友達から褒めてもらうという活動である。

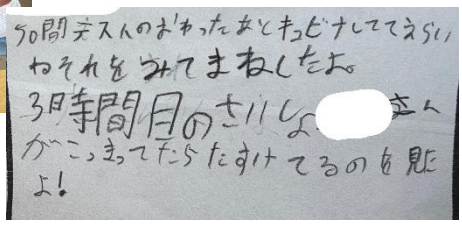
【よかったこと】

自分で自分のよいところが見つからない児童が多かったが，「ほめほめタイム」を通して，自分のよいところが言える児童が増えた。また，朝の会で友達から褒められることでみんなが笑顔になり，気持ちのよいスタートをすることができた。

実践例　いいね👍レター

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】





【目的】

互いのよいところを認め合い，自尊感情の向上を図る。

【説明】

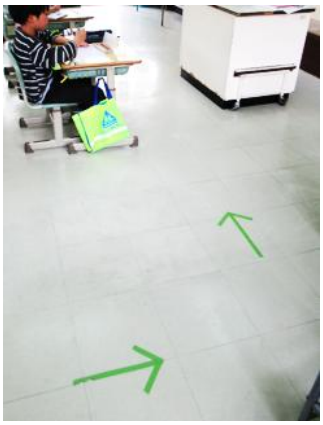
毎日，朝の会でその日のペアを発表する。１日の中で，ペアの友達のよいところを見つける。帰りの会で手紙を書き，渡し合う。

【よかったこと】

友達同士で互いのよいところを積極的に見つけようとする姿勢が育ち，あたたかい雰囲気を醸成することができた。

実践例　提出や給食を安全に

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

提出物を提出するときや，給食を減らしたりおかわりをしたりするときの動線を一方通行にする。

【説明】

教卓に何かを提出したり，持ってきたりするときに，「緑レーンから」と一言言うと，帰る児童とぶつからずに教卓に来ることができる。

【よかったこと】

教師が，「前に出す」と指示を出すと，自分たちで「緑レーン」に並ぶことができた。特に，友達との距離が近い児童にとっては，一方通行にすることで，友達とトラブルになるきっかけが少なくなると感じている。

実践例　スケジュールを自己管理

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

児童が何の授業をどこで行うのか見通しをもつことができるようにする。また，児童が１日の流れを自分事として捉えることができるようにする。

【説明】

１週間の流れを示し，次の日の時間割を組み立てられるようにした。また，交流の時間は黄色に統一し，札の種類を分けるようにした。

【よかったこと】

始めの頃は，放課後教師と一緒に次の日の時間割を確認しながら貼るようにしていたが，慣れてくると自分たちで次の日の時間割を確認し，札を貼ったり，友達に声をかけたりするようになった。

実践例　落ち着く廊下

【　授業ＵＤ化　・　(教室環境ＵＤ化)　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　(小学校・)中学校　】



【目的】

児童や保護者が，安心して廊下で待つことできたり，話ができたりする。

【説明】

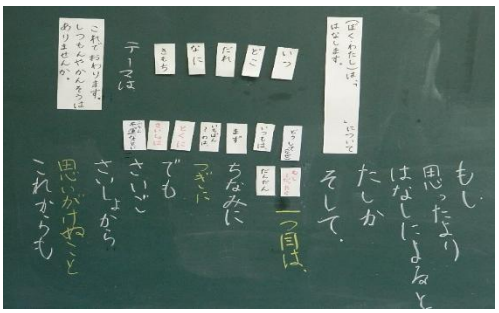
そんなに広くはないが，ゆったりしたスペースに置かれた長椅子と児童机と椅子。雑音もそんなに届かず，落ち着いていろいろな対応が可能である。

【よかったこと】

保護者が児童を待つ際に読書をしたり，教室に入りにくい児童が，外を見ながら落ち着くまで学習をすることができた。

実践例　スピーチのヒントカード

【　(授業ＵＤ化)　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　(小学校・)中学校　】



【目的】

児童がスピーチをする際に，うまく話せない場合の手助けとして。

【説明】

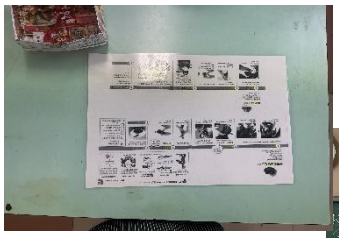
話すことに抵抗をもつ児童は多い。頭を上げたその先の黒板に，話を進める上でヒントになる言葉が掲示してあることは，児童に大きな安心感を与え，話し出すきっかけになる。

【よかったこと】

新たな言葉が出た時に，最初から掲示している言葉にチョークですぐさま追加していく。自分が発した言葉が他の児童のヒントになっているのだと思うことも，児童の自信につながっていった。

実践例　見通しをもつための調理実習の工夫

【 授業ＵＤ化 ・ 教室環境ＵＤ化 ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 小学校・中学校 】





【目的】
調理実習の時，児童が見通しをもてるように各テーブルの上に手順をラミネート加工して置いたり，黒板にもポイントやキーワードを書いたりすることでスムーズに調理実習ができるようにする。

【説明】
事前の学習でグループごとに担当を決めておけば，調理実習に対する見通しはある程度もつことができている。しかし，それだけでは次にすることが分からないことも多々あるので，見通しをもって調理実習をするために事前の準備の工夫をした。

【よかったこと】
資料を見ながらスムーズに調理実習ができた。また，5年生は包丁の使用が初めてなので，事前に食材の切り方を動画に撮りタブレットに送信したことで，見通しをもって調理をすることができた。

実践例　番号付けてスムーズに

【 授業ＵＤ化 ・ 教室環境ＵＤ化 ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 小学校・中学校 】



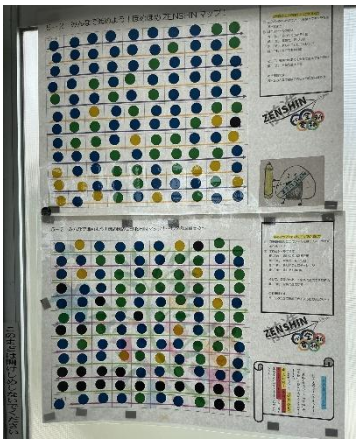
【目的】
宿題やノートを提出するときに，どこに提出したらよいかがわかるようにするための工夫。

【説明】
自分のノートの番号が前に出されたノートの番号よりも小さい場合は下に，大きい場合は上になるように置く。

【よかったこと】
教員のノートのチェックがスムーズにできる。向きをそろえる意識が高まる。

実践例　ほめほめZENSHINマップ

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



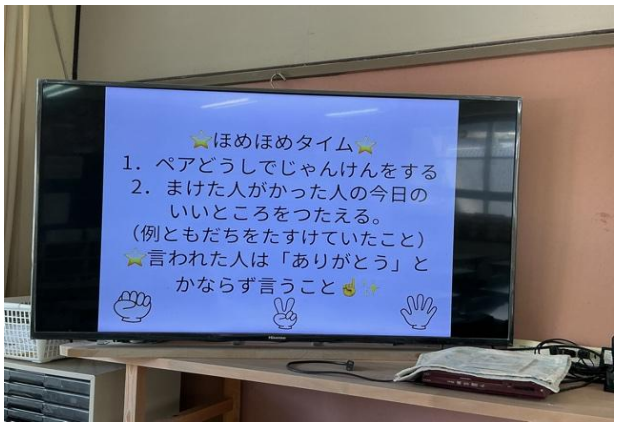
【目的】
学年目標に向かって頑張っている友達を紹介することで，友達の良いところを認める心を育てるとともに，みんなのために動きたいという意欲を高める。

【説明】
帰りの会で良い行動をしていた人を発表し，マップに項目に合ったシールを貼る。1枚マップが完成するたびに，お楽しみ会の計画を立て，クラス全体で認め合う雰囲気をつくる。

【よかったこと】
友達の良いところを積極的に見つけようとしており，クラスで1人1人の良さを認め合う温かい雰囲気づくりをすることができた。今後は，自己肯定感を高めていくために，ZENSHINしていく自分を認めてあげられるような取り組みもあわせて行っていきたい。

実践例　ほめほめタイム

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】
日々の学校生活の中で，一日一つ友達の良いところを見つけることができるようにする。

【説明】
帰りの会の時間に，ペア同士でじゃんけんをし，勝った人，負けた人（教員がどちらか決める）が友達の良いところを伝える。

【よかったこと】
普段話さない人でも友達の良いところを見つけることができ，自己を見つめ直すきっかけをつくることができた。また積極的に友達の良いところを探すことができていた。

実践例　こころの　ハート　貯金

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　(人的環境ＵＤ化)　】　　【　(小学校・)中学校　】



【目的】
　道徳科での学びや心に残った言葉を心の木に貼って蓄積することで，自分の思いが受け入れられたこと（自己肯定感）や様々な考えがあること（多様性）に気付き，安心して自己表現できる集団づくりを目指す。

【説明】
　授業内で見つけた複数の「素敵な言葉・気付き」の中で，１つ自分で選択し，ハート枠内に書く。それを，一人一人が「心の木」へ貼ってファイリングする。教師も同様のものを作成し，だんだんと学びが増えていることをクラス全体でも実感できるよう掲示している。

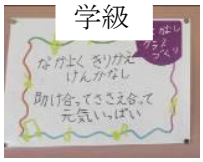
【よかったこと】
　ハートが授業のたびに増えていくことと，自分の言葉が採用されるかもしれないことが楽しみなようで，道徳の時間を待ち遠しいと思う児童が多い。「それ大事だね。」「同じこと思った。」と，友達の様々な考えにしっかり反応しながら過ごす授業が道徳以外にも広がっている。

実践例　なかよしクラスづくり

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　(人的環境ＵＤ化)　】　　【　(小学校・)中学校　】



職員室前



学級

【目的】
　各学級で１年間どんなクラスにしたいかを考えることで目標を明確化し，よりよいクラスづくりを目指すようにする。

【説明】
　４月中に各クラスで目標を明確化し，「こんなクラスにする」と放送で全校に伝え，教室と職員室前に掲示する。

【よかったこと】
　クラスの目標を全員で決めて掲示することで，子供達の意欲を高めたり指導に生かしたりすることができる。全校の目標を職員室前に掲示することで，子供達が意識しやすい環境になっている。

実践例　トイレのスリッパ揃え

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



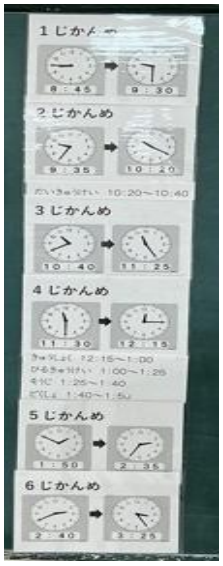
【目的】
　トイレのスリッパを，決められた位置に揃えて置く。

【説明】
　トイレの入り口に，正しい置き方の写真と「そろえてくれてありがとう」のコメントを掲示する。

【よかったこと】
　今まで自分では揃えたつもりでも，実際はきちんと揃えていない児童もいた。目につくところにモデルとなる写真を掲示することで，それを見て揃えることができるようになった。注意することも減り，次の人のことを考えた行動をとることができるようになった。

実践例　１日の日課に見通しをもたせる工夫

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



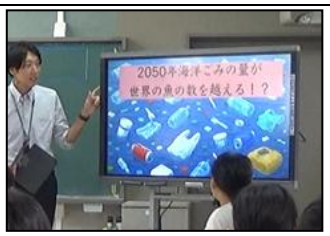
【目的】
　その日の日課を知り，見通しをもって生活できるようにする。

【説明】
　曜日や行事によって日課が変わるので，１時間ごとにカードを貼り替えることができるようにした。
　ベルスタートを意識できるように，授業の開始時刻と終了時刻を時計で示し，視覚支援した。

【よかったこと】
　日課表を見て，昼休憩や掃除があるかどうかを確認し，見通しをもって生活することができた。また，曜日によって授業の開始時刻や終了時刻が違うので，日課表を見て確認することができた。

実践例　スライドを活用した「考えてみたい！」を引き出す工夫

【 授業ＵＤ化 ・ 教室環境ＵＤ化 ・ 人的環境ＵＤ化 】　　【 小学校・中学校 】







【目的】

身近な海の様子を視覚的に捉え，「きれいな海」というイメージと実際の様子とのズレに気付き，海洋ごみの問題に関心をもてるようにする。

【説明】

身近な海の全体の様子が見える写真を提示した後，同じ海に多くのプラスチックごみがある様子を提示する。モニターを活用して視覚的に比較することで，イメージと現実のズレに気付かせ，児童の驚きや疑問を引き出す。

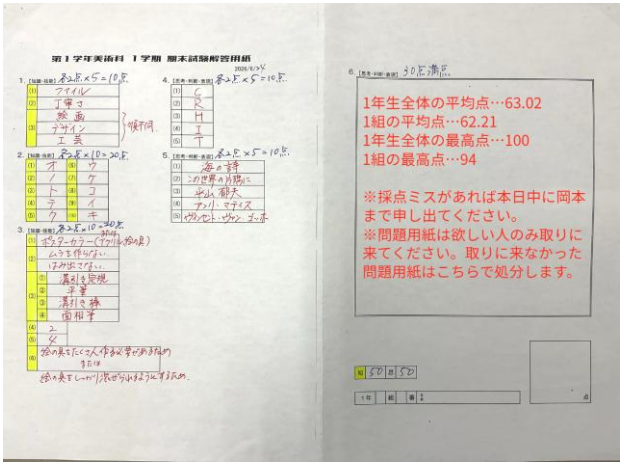
【よかったこと】

写真を段階的に焦点化して提示することで，身近な海にも多くのプラスチックごみがあることに気付き，「このままでは，海が大変なことになる」と課題感をもつ姿が見られた。その課題感が、海洋ごみの問題について「なんとかしたい」「できることを考えたい」という学習意欲につながった。

実践例　プリントのデータ配布

【　授業ＵＤ化　・教室環境ＵＤ化・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】

※定期試験の模範解答など



【目的】
　印刷，配付すべきプリント以外はデータでタブレットに配付し，生徒のファイル・机・ロッカー内の整理整頓の効率化を図る。
【説明】
　一時的にしか使わないプリントと紙媒体でファイルに綴じさせておきたいプリントを教員側で精選し，長期保管させる必要性の低いものはデータで配付する。これにより，片付けの苦手な生徒がプリントを散らかしたり無くしたりといったことを防ぐ。ただし，紙媒体で配付し保管させていた方が教育効果のある内容のプリントもあるので，教員の見極めが必要。

【よかったこと】
　教室でプリントが床に散乱しているといったことが少なくなり，配付したり回収したりといった時間を省くといった効果があった。プリントを生徒数分印刷する時間を他の業務に充てることができた。

実践例　作業中のBGM

【　授業ＵＤ化　・教室環境ＵＤ化・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】

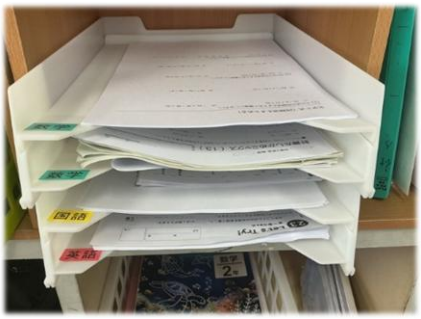


【目的】
各自で黙々と作業をする場面に心地よいBGMを流すことで，生徒たちの心を落ち着かせるとともに，音楽に乗って手を動かし，集中力をより高める効果をねらう。
【説明】
　個人経営の医院等では待合場所でオルゴール等の（歌声の入っていない）ゆったりした音楽が流され，患者の緊張や苛立ちを鎮めさせている。美術の授業においても数年間，この取組を実践してみたところ，実に好評で生徒の興奮を鎮め，音楽に乗って作業をはかどらせる効果が見らえることがわかった。

【よかったこと】
　作業中の私語が減り，作業がはかどるようになった。中には身体でリズムを取りながら作業している生徒もいる。

実践例　宿題ボックス＆提出物かご（特別支援学級）

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



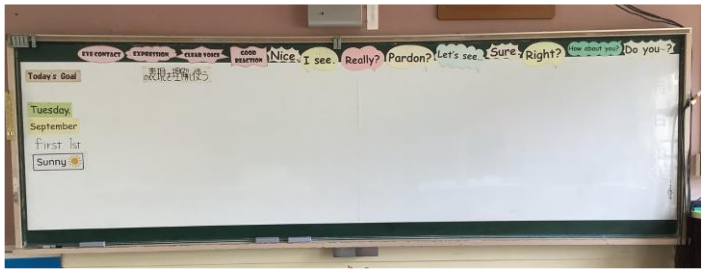


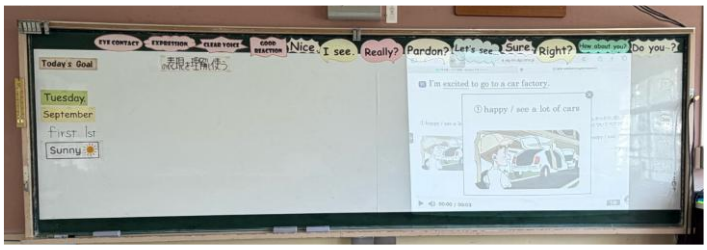
【目的】
　自分のことは自分でする主体性，自己管理する力を身に付ける。
【説明】
　帰りの会の前に宿題を自分で宿題ボックスから3教科プリントを準備して宿題ファイルに入れて帰る。
　宿題ファイルや提出物など提出物かごに出す。

【よかったこと】
　ひとりひとり課題が違うため間違って配付することがなくなった。また，時間の削減にもなった。自分で用意することによって，宿題を意識するようになった。ルーティーン化することで忘れることがなくなった。ファイルにプリント類をきれいに入れるようになった。プリント類を紛失することがなくなった。

実践例　黒板掲示

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】





【目的】
　ペアでの対話等で活用したいリアクションワードを常に黒板の上部に掲示。
　プロジェクターを使って，デジタル教科書の文字等を大きく表示。
【説明】
　リアクションワードやつなぎ言葉を常に掲示しておくことは，生徒が英語でコミュニケーションを図る際の手がかりを視覚的に保障し，誰もが参加しやすい環境を作るＵＤの一つである。「何といえばよいか」の手がかりになる。
　今，どこを見ればよいのかを視覚的に明確にすることで，英文・写真・イラスト・音声などを同時に提示することができ，複数の手がかりから学習内容を理解しやすい環境を整えるＵＤの一つである。「何を見ればよいか」の手がかりになる。

【よかったこと】
　少しずつ活用しようとする態度が見えてきた。集中して取り組むことができる。

実践例　伝言ボード

【　授業ＵＤ化　・（教室環境ＵＤ化）・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・（中学校）　】



【目的】
　学年全体に同じ情報や内容について周知する。
　生徒が主体的に見通しをもって動くことができる。
【説明】
　下足場に伝言ボードを置き，学年全体に指示したい内容を書いておく。生徒はその内容を確認して動く。

【よかったこと】
教員がその場に居なくても指示が出せた。
学年全体で同じ指示が出せた。
生徒が主体的に動けるようになった。
互いに声掛けをおこなうようになり，人的環境UDにも繋がった。

実践例　机の高さをそろえる

【　授業ＵＤ化　・（教室環境ＵＤ化）・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・（中学校）　】



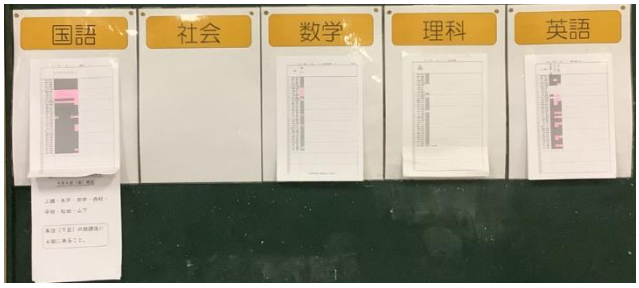
【目的】
　協働学習・グループワークの円滑化
　安全管理と教室環境の美化
【説明】
　教室内の机をすべて同じ高さにそろえる。試験時の机移動も原則行わず，人だけ自分の場所に移動する。

【よかったこと】
　班活動の際，机同士をピタッとくっつけて平らなスペースを確保できた。
　高低差がないのでグループ全員が同じ条件でノートを広げたり話し合ったりできるため，活動の公平性が生まれた。
　移動時や班活動の配置換えの際に，角に体をぶつけるリスクを低減させることができた。
　高さをそろえることで，教室全体が整然とした印象になり，生徒が落ち着いて過ごせる環境を整えることができた。

実践例　提出物を確認しやすい教室掲示

【　授業ＵＤ化　・（教室環境ＵＤ化）・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校（・中学校）　】





【目的】

生徒の提出物状況を教科別に先生も生徒も一緒に確認できるようにしている。

【説明】

たくさんの提出物がある中で何が提出できていて，何が提出できていないのかをお互いに確認することができる。教員のチェックを忘れや間違いを確認してもらう意味もある。４クラスとも同じ掲示にすることで各クラスの提出状況を比較することもできる。

【よかったこと】

提出物をちゃんと出すという意識が生徒の中にうまれた。日ごろから生徒と教員でお互いに提出物を確認するようになった。自分が他の生徒の状況を見て自分も提出物を出そうという個々の意識を持つようになった生徒が増えた。

実践例　ロッカーの整理整頓

【　授業ＵＤ化　・（教室環境ＵＤ化）・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校（・中学校）　】



【目的】

ロッカーやかばん置き場が狭いなかでも，クラス全員が気持ちよく使うため。

ロッカーを整理して失物を防ぐため。

【説明】

かばんは男女別，出席番号順に立てて並べている。

水筒は，男女別にコンテナを用意し，置き場所を固定している。

【よかったこと】

狭い置き場でも混乱したり，崩れたりすることなく，置くことができた。

整理整頓の意識を高めることができる。

実践例　予定表や通信を確認しやすい教室掲示

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

生徒に配布済の行事予定表や，通信等を掲示しやすく，確認しやすくなるようにするため。

【説明】

決まった配布物の定位置（教室の後方黒板）を決め，分かりやすく掲示する。

定位置にはポケットと見出しがあるので掲示しやすく，どこに何が掲示されているかが分かりやすい。

【よかったこと】

いつも決まった場所にきれいに掲示されていることから，確認したいことをスムーズに自分で確認することができる。

また，配布されたプリントも自然と，自分で整理できる子が増えた。

実践例　ロッカー内の整理

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

ロッカーが狭いので，クラス全員が気持ちよく使うため。

ロッカーを整理して失物を防ぐため。

【説明】

教科書は立てるなど，ロッカー内の整理の仕方を決め，それに従って整理している。

整理されたロッカーの写真を掲示して見本をいつでも見れるようにしている。

【よかったこと】

狭い置き場でも混乱したり，崩れたりすることなく，置くことができた。

ロッカー内で教科書類を横に無造作に置くと，すぐにいっぱいになり，崩れてしまう。仕切りを使うことで，仕切りのないロッカーでも立てて収納でき，一目で何があるかわかる。その結果，紛失しにくい環境を作ることができた。

整理整頓の意識を高めることができる。

実践例　特別教室での履き物を揃える意識

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

授業が始まる意識を高めるため。

心を一旦落ち着かせるため。

物の置き方や所作等，美意識を高めるため。

【説明】

スリッパの踵と，下駄箱の手前際を揃え，乱雑に置かないようにしている。

男女別，出席番号順に並べている。

【よかったこと】

乱雑さが無くなり，落ち着いて授業がスタートできるようになった。

「揃える」気持ちよさを体感し，音楽にも応用できるようになってきた。

日常の下駄箱においても，自然と踵を揃えて置ける生徒が増えてきた。

実践例　木工室の机上の整理

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

・安全に作業を行うため。

【説明】

座学と作業を１つの教室で行うため，座学が終わり次第，作業で使用しないものを机の下の棚に整理して置く。

全員が机上を片付けた状態で作業に入る。

【よかったこと】

工具が教科書などの下に入り込むと，当たって思わぬケガの原因になったり，探す手間がかかったりするが，それを防げる。

細かい材料などの紛失を防げる。

座学から作業に入るときの気持ちの切り替えができる。

整理整頓の意識を高めることができる。

実践例　あいさつトレーニング

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・（人的環境ＵＤ化）】　　【　小学校・中学校　】



【目的】
　挨拶をする習慣を身に付け，相手に伝わる声で気持ちのよい挨拶ができるようにする。

【説明】
　各部活動のキャプテンが日替わりで前に立ち，「おはようございます」「こんにちは」「よろしくお願いします」「ありがとうございます」の４つの挨拶を発声し，クラス全員でリピートする。最後にキャプテンが「今日も一日頑張りましょう」と呼びかけ，一日のよいスタートにつなげている。

【よかったこと】
　挨拶が日常生活の中で十分に定着したとはまだ言えないものの，「今日も一日頑張りましょう！」という呼びかけに，全員が「はい！」と元気よく応えるなど，前向きな雰囲気で一日をスタートすることができている。今後も継続することで，朝の声出しだけでなく，日常の自然な挨拶につながることを期待している。部活動のキャプテンがリーダーとして活躍するいい機会になっている。

実践例　試験中の廊下の見回り

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・（人的環境ＵＤ化）】　　【　小学校・中学校　】



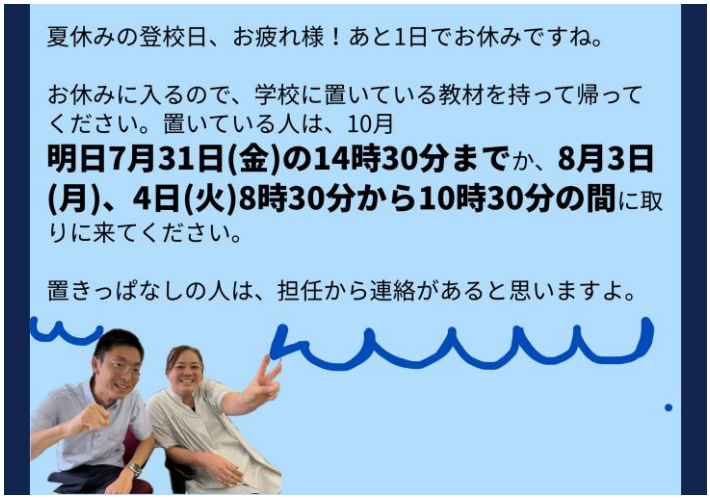
【目的】
　試験中に体調不良やトイレに行きたくなった生徒，その他試験でのトラブルに対応できるようにする。

【説明】
　試験中に緊張で体調が悪くなったり，トイレに行きたくなったりする生徒への対応や，試験でのトラブルに対応するために教員が廊下で待機をしている。

【よかったこと】
　生徒が安心して試験を受けることができる。試験中の不正行為などの抑止力にもなる。試験監督をしている教員も何かあればすぐに連携することができ，安心して監督することができる。

実践例　ICTを活用した連絡

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

生徒に伝えたい事項を口頭だけでなくメッセージで伝える。

【説明】

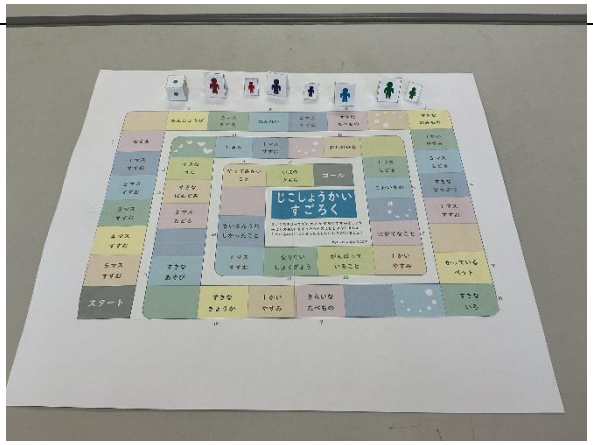
タブレットのロイロノートや保護者連絡アプリtetoruを活用して生徒に伝えたい事項を生徒に口頭で伝えるだけではなく，メッセージとして生徒や保護者に伝える。

【よかったこと】

持参物や提出物などを忘れる生徒が減少した。進路に関する大量の情報などをメッセージで送ることにより周知ができ，紙資源の節約にもなった。プリントなどのように紛失する心配もなく，生徒も教員も安心して活用することができた。

実践例　自己紹介すごろく

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

すごろくを通して，生徒の人間関係を構築し，学級という組織の一員としての自覚を持つ。

【説明】

印刷したものを生徒が台紙に張ったりさいころやコマは作成した。すごろくのマスには，「すきなたべもの」や「がんばっていること」などのマスがあり，その人の好きなものなどが分かるようになっている。サイコロは１から３の目しかなく，多くのマスに止まるようになっている。

【よかったこと】

生徒は楽しくすごろくを行っていた。「１かいやすみ」のマスなどもあるため，やすみマスに止まるとみんながにぎやかになっていた。４月に１回目を行い，１年生と２・３年生の交流ができた。

実践例　体育大会　各組の意気込みの掲示

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

生徒一人ひとりが体育大会への意欲を高めるとともに，互いの思いを共有できる場をつくる。

【説明】

生徒会執行部の取組の一つとして，各組の意気込みや体育大会に向けたメッセージを掲示する活動を行った。全校生徒が自由にメッセージを書くことができるようにし，各組（色）ごとに掲示した。

【よかったこと】

多くの生徒が積極的に意気込みを書き，体育大会を盛り上げようとする雰囲気づくりにつながった。メッセージを書いている際には，クラス・学年をこえての際が生まれ，楽しみながら活動する姿が見られた。

実践例　理科における単元内自由進度学習

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】

学習の順番や方法を生徒一人一人に判断させることで，生徒間で相談や議論がしやすい雰囲気を醸成する。

【説明】

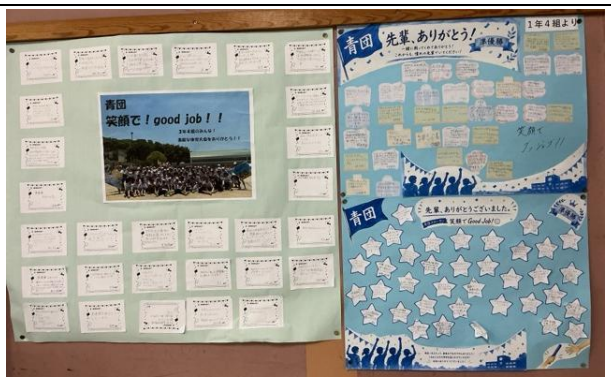
生徒は，その時間にどんな学習に取り組むか，どのような方法で取り組むかを自己決定します。その結果，一人一人の学習状況に差が出るため，質問や相談がしやすくなる。

【よかったこと】

「友達とやると自分の意見を伝えやすい」「自分の話しやすい人に聞いたり，教えてもらったりできる」等，肯定的評価が生徒アンケートで多数見られた。

実践例　行事を通しての交流

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校　・　中学校　】



【目的】
　行事を通して，クラス，学年間で交流を図る。

【説明】
　体育大会でのクラス，他学年に向けたメッセージを記入した。クラス内でのメッセージは教室掲示，他学年からはお礼のメッセージをもらった。

【よかったこと】
　クラス内では互いの努力を称え合うことができた。他学年からもメッセージをもらうことで，自分たちの行動に自信を持つことができた。

実践例　いいところ探偵

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校　・　中学校　】



【目的】
　お互いの長所やよさに気づき，認め合うことでクラスの人間関係をより良くしたり，自己肯定感を高めることができるようにする。

【説明】
　共通の「いいところ」の視点（キーワード）を参考に１週間クラスメートのよいところを探し，報告書を記入する。報告書を作成する相手は毎回ランダムにしており，誰からもらったものかは分からないようにしている。また，事実をベースに具体的に記入するようにしている。終わったあとは，教員が報告書をまとめて教室に掲示している。

【よかったこと】
　「自分のこの行動っていいことなんじゃ！」などとても嬉しそうに報告書を見ている。報告書のまとめを掲示することで，クラスのために…と同じ行動をとってくれる生徒が増えた。高校入試の面接や自己表現にも役立てることができるので，定期的に実施していきたい。

実践例　みんなが取り組めるワークシート

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



【目的】
色の数を少なくすることで，重要な部分が分かりやすく明確にしやすくなる。
【説明】
板書の色数を絞ることで，情報の優先順位を明確にし，色の見え方や情報処理の得意・不得意にかかわらず必要な情報を捉えやすくすることができる。

【よかったこと】
　重要語句を認識しやすいことから，どこを覚えればよいかが伝わっているように感じる。また，ノートをまとめている生徒たちがどの単語を自分の言葉でまとめればよいかわかりやすく，試験勉強をなどに活用でしやすくなったように思える。

実践例　みんなが取り組めるワークシート

【　授業ＵＤ化　・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・中学校　】



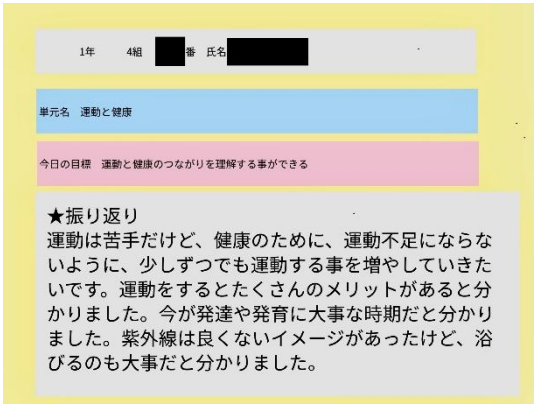


【目的】
・教師からの説明時間を少なくし，生徒の活動時間を多くするため。
・英語が苦手な生徒でも，ワークシートを見れば活動に取り組めるようにするため。
【説明】
　書くことが苦手な生徒が多く，生徒によって進度が違うため十分に時間を確保し，授業内に作品が完成するようにした。また，英語が苦手な生徒もいるが，机間指導ですべてを見切れないため，ある程度ワークシートを見て取り組めるようにした。

【よかったこと】
　説明をなるべく少なくし，活動時間を多く確保することができた。また，ワークシートにヒントを記載しておくことで，苦手な生徒でもヒントを見ながら作文を書くことができた。得意な生徒はヒントを見ながら自分で活用し，オリジナルの文を書いている生徒が数名見られた。

実践例　「提出しやすい振り返りシート」（1学年・保健体育）

【（授業ＵＤ化）・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校・（中学校）】



【目的】
　授業の振り返りシートが容易に作成し提出することができる。

【説明】
　授業終了５分前に，ロイロノートで振り返りシートを配布し，作成の指示を出す。年度初めの授業では記入例も示しながら取り組んでいる。

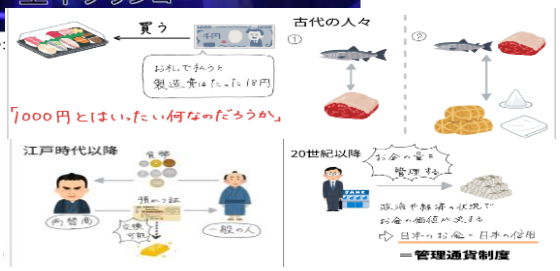
【よかったこと】
　毎授業ごとに，タブレットを使用し，ロイロノートで振り返りシートを作成し，提出箱に提出させる。書くことが苦手な生徒も作成しやすく，提出率も向上し，評価する側にもメリットが増えた。

実践例　本文の内容をイメージする

【（授業ＵＤ化）・　教室環境ＵＤ化　・　人的環境ＵＤ化　】　　【　小学校（・中学校）】



ポップサーカス（8）空中ブラン:



【目的】
　教材文に書かれていることのイメージを持たせることで，本文の内容を読み取りやすくする。

【説明】
　文章だけでは物語の登場人物が何をしているのか場面が想像できないという生徒が多い。そのため，動画やスライドを参考資料として提示することで，書かれている内容を視覚的にイメージしやすくしている。本文に書かれている内容だけでなく，ワークシートの完成形のイメージを持たせるために，提示することもある。

【よかったこと】
　動画やスライドを提示することで，登場人物の言動や本文で説明されていることがイメージできるようになった。説明文では書かれていることを，イラストを用いて図解することで，出来事の変化が視覚化され，順を追った読み取りがしやすくなっていた。